単位団紹介

『万葉の里太鼓少年団』

今回は、児玉郡美里町で活動している「万葉の里太鼓少年団」を訪問しました。

埼玉県内で活動している少年団として唯一の太鼓の演奏をとおして、人とのつながり、また伝統芸能を伝承していく、珍しい少年団です（全国でも、太鼓を演奏して活動している団体は数多くありますが、少年団活動としての団はわずかです）。

秋山先生を中心に指導者の方７名、団員は小学１年生から中学２年生まで26名で活動しています。毎月第1・3・5土曜日の午前中に練習を続けています。

活動場所は通常、美里町町民武道館を使用し、太鼓は町所有の立派な太鼓を借用しています。

低学年の小さな体で、高学年のお兄さんお姉さんたちと一緒に、踊りながら大きな太鼓をリズムよく打ち鳴らします。演奏の途中の掛け声など先生が声を大きく、撥を持った手を高く上げるなど一生懸命練習しています。

取材日（10月23日）は、翌日10月24日（日曜日）本庄市で行われる『本庄早稲田の杜まちびらきフェスタ』のイベントで美里町代表で演奏するとのことで、真剣なリハーサルが行われていました。演奏前の太鼓の周りで立つ足の位置、掛け声の大きさなど先生、指導者そしてお母さん方（笛を演奏する）ともども真剣に練習していました。

今年度は、町のイベント、まつり、学校、老人ホーム等いろいろな所で発表をしてきました。民族歌舞団「荒馬座」との交流もあります。

今回の取材で、太鼓の演奏は体の全身を使い、踊る、太鼓をたたく、声を出す、そして何事も礼儀（先生の話、注意などは正座をする）を重んじていることなどは、日本古来の武道の精神と同じであると思いました。

今後も、地域の伝統芸能をとおして、子どもを育て、人とのつながりを大きくしていってほしいと思います。秋山先生ほか保護者の方、貴重な練習の時間の取材協力ありがとうございました。

平成22年度ポカリスエット・ジュニアスポーツセミナー

平成22年7月17日（土） 白岡町コミュニティセンター

スポーツ少年団指導者の資質向上と単位スポーツ少年団活動の活性化を図り、子どもたちにとって望ましいスポーツ環境を整えるために、指導者・育成母集団・保護者などを対象にしたセミナーが、日本体育協会オフィシャルパートナーである大塚製薬株式会社の特別協賛を得て７月17日、白岡町で開催されました。

1.『子どものスポーツ活動中の水分補給』石渡貴之氏
（立教大学コミュニティ福祉学部スポーツウェルネス学科准教授）
2.『子どもの可能性を求めて』三屋裕子氏
（元全日本バレーボール選手）

お二人の講師による講演が行われ、子どもたちにとって望ましいスポーツ環境を整えるために、スポーツ活動と水分補給に関する問題や、親子でのスポーツ体験プログラムや、親子でのふれあい、体を動かすことの楽しさをわかりやすく、楽しく講演をしていただきました。

参加していただいた方々は、それぞれの単位団、またご家庭での子どもとのふれあいに少しでも役立てていただけるものと思います。

会場を提供、運営、準備等にご協力をしていただいた白岡町スポーツ少年団（野口英夫本部長）および関係の方々ありがとうございました。